



2026年3月期 第1四半期決算報告

2025年8月7日

1. 2026年3月期 第1四半期決算報告

2. 2026年3月期 通期見通し

2026年3月期 Q1：ポイント

Q1実績 (前年比)

- 売上収益 : 1,581億円 (前年比 ▲57億円)
- 営業利益 : ▲11億円 (前年比 ▲40億円)
- 当期利益* : 94億円 (前年比 +67億円)
- 売上収益は、FPD装置事業とコンポーネント事業では増収も、映像事業を中心に為替影響を大きく受けたことやヘルスケア事業での米国におけるアカデミア向け助成金の打ち切りや保留の影響により、前年比減収
- 営業利益は、FPD装置事業の製品ミックス改善や半導体装置事業・インダストリアルソリューションズ事業の構造改革効果により増益も、映像事業での為替影響と製品ミックスの変化、ヘルスケア事業での減収に伴う減益により、前年比減益
- 当期利益は、連結子会社の解散及び清算決議に伴う繰延税金資産93億円の計上により、前年比増益

注：本資料で使用している数値は、億円未満は切り捨て

* 親会社の所有者に帰属する四半期利益

2026年3月期 Q1：財務ハイライト

単位：億円	25年3月期 Q1実績	26年3月期 Q1実績	前年比	
			増減額	増減率
売上収益	1,638	1,581	▲57	▲3.5%
営業利益	29	▲11	▲40	▲140.4%
営業利益率	1.8%	▲0.8%	▲2.6P	
税引前利益	46	7	▲39	▲82.9%
税引前利益率	2.8%	0.5%	▲2.3P	
当期利益*	27	94	+67	+243.6%
当期利益率	1.7%	6.0%	+4.3P	
FCF	▲80	▲93	▲13	-
為替：USD ドル ユーロ	156円	145円	売上収益への影響	
	168円	164円	▲71	
			営業利益への影響	
			▲23	

Q1における営業利益への関税影響は▲13億円

* 親会社の所有者に帰属する四半期利益

2026年3月期 Q1：セグメント別業績

単位：億円		25年3月期 Q1実績	26年3月期 Q1実績	前年比	
				増減額	増減率
映像事業	売上収益	837	800	▲37	▲4.4%
	営業利益	178	110	▲68	▲38.3%
	営業利益率	21.4%	13.8%	▲7.6P	
精機事業	売上収益	331	338	+7	+1.9%
	営業利益	▲21	18	+39	-
	営業利益率	▲6.4%	5.6%	+12.0P	
ヘルスケア事業	売上収益	262	231	▲31	▲11.6%
	営業利益	▲6	▲18	▲12	-
	営業利益率	▲2.4%	▲7.9%	▲5.5P	
コンポーネント事業	売上収益	138	151	+13	+9.6%
	営業利益	▲1	18	+19	-
	営業利益率	▲0.8%	11.9%	+12.7P	
デジタル マニファクチャリング事業	売上収益	59	50	▲9	▲13.8%
	営業利益	▲35	▲41	▲6	-
	営業利益率	▲60.5%	▲82.2%	▲21.7P	
その他（含、全社費用等）	売上収益	10	8	▲2	▲18.5%
	営業利益	▲84	▲98	▲14	-
連結	売上収益	1,638	1,581	▲57	▲3.5%
	営業利益	29	▲11	▲40	▲140.4%
	営業利益率	1.8%	▲0.8%	▲2.6P	

2026年3月期 Q1：映像事業

単位：億円	25年3月期 Q1実績	26年3月期 Q1実績	前年比
売上収益	837	800	▲37
営業利益	178	110	▲68
営業利益率	21.4%	13.8%	▲7.6P
レンズ交換式 デジタルカメラ	23万台	27万台	+4万台
交換レンズ	37万本	37万本	±0万本

Q1前年比：

- 売上収益は、ボリュームゾーンの新製品Z5IIや好調なZ50IIなどを中心に販売台数は増加したものの、為替の影響により減収
- 営業利益は、製品ミックスの変化や為替影響による平均販売単価の下落に加え、関税影響もあり減益

2026年3月期 Q1：精機事業

単位：億円	25年3月期 Q1実績	26年3月期 Q1実績	前年比
売上収益	331	338	+7
営業利益	▲21	18	+39
営業利益率	▲6.4%	5.6%	+12.0P
FPD露光装置	7台	7台	-
半導体露光装置 新品／中古	0/4台	2/0台	+2/▲4台

Q1前年比：

- 売上収益は、FPD露光装置の製品ミックス改善が寄与し増収
- 営業利益は、FPD露光装置の製品ミックス改善や前年に実施した半導体装置事業の構造改革効果により増益

2026年3月期 Q1：ヘルスケア事業

単位：億円	25年3月期 Q1実績	26年3月期 Q1実績	前年比
売上収益	262	231	▲31
営業利益	▲6	▲18	▲12
営業利益率	▲2.4%	▲7.9%	▲5.5P

Q1前年比：

- 売上収益は、ライフサイエンスは米国におけるアカデミア向け助成金の打ち切りや保留影響による販売減、アイケアは米国での販売が低調に推移したことに加え、為替影響により減収
- 営業利益は、開発投資の抑制等により経費を削減するも、減収及び関税影響による粗利減により減益

2026年3月期 Q1 : コンポーネント事業

単位：億円	25年3月期 Q1実績	26年3月期 Q1実績	前年比
売上収益	138	151	+13
営業利益	▲1	18	+19
営業利益率	▲0.8%	11.9%	+12.7P

Q1前年比：

- 売上収益は、電子部品・半導体向け画像測定システムやFPDフォトマスク基板の販売増加により増収
- 営業利益は、増収に加え、前年に実施したインダストリアルソリューションズ事業（旧産業機器事業）での構造改革効果により増益

2026年3月期 Q1：デジタルマニュファクチャリング事業

単位：億円	25年3月期 Q1実績	26年3月期 Q1実績	前年比
売上収益	59	50	▲9
営業利益	▲35	▲41	▲6
営業利益率	▲60.5%	▲82.2%	▲21.7P

Q1前年比：

- SLM社の大型金属3Dプリンターの販売台数減により減収減益
- 一方でQ1受注高は大型金属3Dプリンターを中心に前年比増

1. 2026年3月期 第1四半期決算報告

2. 2026年3月期 通期見通し

2026年3月期 上期見通し：ポイント

2026年3月期 上期見通し

- **売上収益** : **3,130億円** (前回予想から90億円下方修正、内関税影響20億円**)
- **営業利益** : **▲80億円** (前回予想から110億円下方修正、内関税影響30億円**)
- **当期利益*** : **50億円** (前回予想から15億円上方修正)
 - 映像事業：関税影響と製品ミックスの変化を反映し、売上収益50億円、営業利益50億円下方修正
 - 精機事業：半導体露光装置の一部の販売計画が下期に後ろ倒しになるため、売上収益30億円、営業利益5億円下方修正（通期では変更なし）
 - ヘルスケア事業：関税影響と最新見通しを踏まえ、売上収益30億円、営業利益35億円下方修正
 - コンポーネント事業：一部製品の前倒し需要を反映し、売上収益20億円、営業利益10億円上方修正（通期では変更なし）
 - デジタルマニファクチャリング事業：一部販売の後ろ倒しを反映し、売上収益10億円、営業利益5億円下方修正
 - 当期利益は、営業利益は下方修正するも、連結子会社の解散及び清算決議に伴う繰延税金資産93億円の計上により、15億円上方修正

* 親会社の所有者に帰属する四半期利益

** 関税影響の詳細金額については17ページ、25ページ参照

2026年3月期 通期見通し：ポイント

2026年3月期 通期見通し

- **売上収益** : **7,000億円** (前回予想から100億円下方修正、内関税影響50億円**)
- **営業利益** : **210億円** (前回予想から150億円下方修正、内関税影響75億円**)
- **当期利益*** : **270億円** (前回予想から30億円下方修正)
 - 映像事業：関税影響と上期の製品ミックス変化を反映し、売上収益80億円、営業利益80億円下方修正
 - ヘルスケア事業：関税影響と最新見通しを踏まえ、売上収益30億円、営業利益45億円下方修正
 - デジタルマニュファクチャリング事業：関税影響を反映し、営業利益5億円下方修正
 - 当期利益は、連結子会社の解散及び清算決議に伴う繰延税金資産93億円の計上も、30億円下方修正
- **為替レート** : **USドル 145円、ユーロ 157円**
(Q2以降は、USドルは145円、ユーロは155円で前回予想から変更なし)

* 親会社の所有者に帰属する四半期利益

** 関税影響の詳細金額については17ページ、25ページ参照

2026年3月期 通期見通し：財務ハイライト

単位：億円	25年3月期 実績	前回予想 (5/8)	今回予想 (8/7)	前年比	前回予想比
売上収益	7,152	7,100	7,000	▲152	▲100
営業利益	24	360	210	+186	▲150
営業利益率	0.3%	5.1%	3.0%	+2.7P	▲2.1P
税引前利益	45	400	250	+205	▲150
税引前利益率	0.6%	5.6%	3.6%	+3.0P	▲2.0P
当期利益*	61	300	270	+209	▲30
当期利益率	0.9%	4.2%	3.9%	+3.0P	▲0.3P
ROE	0.9%	4.7%	4.2%	+3.3P	▲0.5P
EPS	17.86円	91.23円	82.08円	+64.22円	▲9.15円
年間配当	50円	50円	50円	-	-
為替：USドル	153円	145円	145円	売上収益への予想影響 ▲234	+11
ユーロ	164円	155円	157円	営業利益への予想影響 ▲65	▲5

* 親会社の所有者に帰属する当期利益
注： 予想EPSの前提となる発行済株式数： 前回予想：約328.8百万株、今回予想：約328.9百万株

2026年3月期 通期見通し：財務ハイライト（前回予想との差異）

単位：億円	前回予想（5/8）			今回予想(8/7)			前回予想比		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上収益	3,220	3,880	7,100	3,130	3,870	7,000	▲90	▲10	▲100
営業利益	30	330	360	▲80	290	210	▲110	▲40	▲150
営業利益率	0.9%	8.5%	5.1%	▲2.6%	7.5%	3.0%	▲3.5P	▲1.0P	▲2.1P
税引前利益	50	350	400	▲60	310	250	▲110	▲40	▲150
税引前利益率	1.6%	9.0%	5.6%	▲1.9%	8.0%	3.6%	▲3.5P	▲1.0P	▲2.0P
当期利益*	35	265	300	50	220	270	+15	▲45	▲30
当期利益率	1.1%	6.8%	4.2%	1.6%	5.7%	3.9%	+0.5P	▲1.1P	▲0.3P
ROE	4.7%			4.2%			▲0.5P		
EPS	91.23円			82.08円			▲9.15円		
年間配当	50円			50円			-		
為替：USドル	145円	145円	145円	145円	145円	145円	±0円	±0円	±0円
ユーロ	155円	155円	155円	159円	155円	157円	+4円	±0円	+2円

* 親会社の所有者に帰属する当期利益

注： 予想EPSの前提となる発行済株式数： 前回予想：約328.8百万株、今回予想：約328.9百万株

2026年3月期 通期見通し：セグメント別見通し

単位：億円

		25年3月期実績	前回予想（5/8）	今回予想（8/7）	前年比	前回予想比
映像事業	売上収益	2,953	2,950	2,870	▲83	▲80
	営業利益	413	400	320	▲93	▲80
	営業利益率	14.0%	13.6%	11.1%	▲2.9P	▲2.5P
精機事業	売上収益	2,019	1,850	1,850	▲169	-
	営業利益	15	120	120	+105	-
	営業利益率	0.8%	6.5%	6.5%	+5.7P	-
ヘルスケア事業	売上収益	1,164	1,150	1,120	▲44	▲30
	営業利益	67	85	40	▲27	▲45
	営業利益率	5.8%	7.4%	3.6%	▲2.2P	▲3.8P
コンポーネント事業	売上収益	741	790	790	+49	-
	営業利益	71	100	100	+29	-
	営業利益率	9.7%	12.7%	12.7%	+3.0P	-
デジタル マニファクチャリング事業	売上収益	233	330	330	+97	-
	営業利益	▲152	▲85	▲90	+62	▲5
	営業利益率	▲65.2%	▲25.8%	▲27.3%	+37.9P	▲1.5P
その他 （含、全社費用等）	売上収益	40	30	40	±0	+10
	営業利益	▲391	▲260	▲280	+111	▲20
連結	売上収益	7,152	7,100	7,000	▲152	▲100
	営業利益	24	360	210	+186	▲150
	営業利益率	0.3%	5.1%	3.0%	+2.7P	▲2.1P

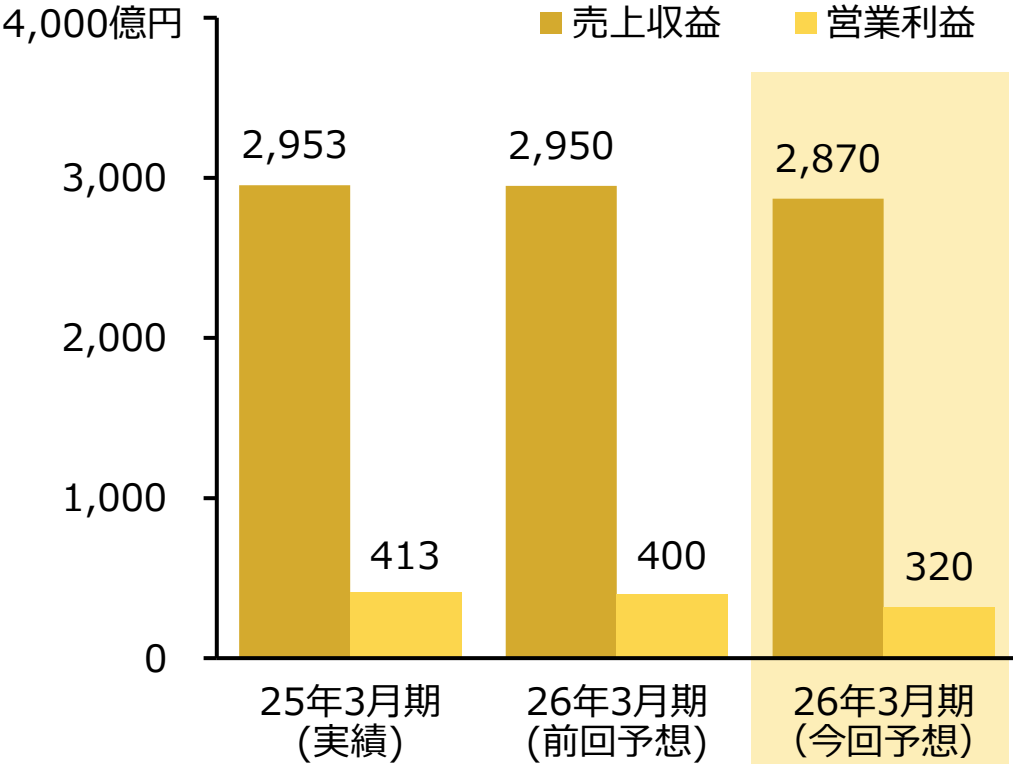
2026年3月期 通期見通し：セグメント別見通し（前回予想との差異）

単位：億円		前回予想（5/8）			今回予想（8/7）			前回予想比			内、関税影響		
		上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期*	下期	通期
映像事業	売上収益	1,450	1,500	2,950	1,400	1,470	2,870	▲50	▲30	▲80	▲20	▲30	▲50
	営業利益	190	210	400	140	180	320	▲50	▲30	▲80	▲20	▲30	▲50
精機事業	売上収益	750	1,100	1,850	720	1,130	1,850	▲30	+30	-			
	営業利益	10	110	120	5	115	120	▲5	+5	-			
ヘルスケア事業	売上収益	530	620	1,150	500	620	1,120	▲30	-	▲30			
	営業利益	25	60	85	▲10	50	40	▲35	▲10	▲45	▲10	▲10	▲20
コンポーネント事業	売上収益	330	460	790	350	440	790	+20	▲20	-			
	営業利益	25	75	100	35	65	100	+10	▲10	-			
デジタル マニュファクチャリング事業	売上収益	150	180	330	140	190	330	▲10	+10	-			
	営業利益	▲50	▲35	▲85	▲55	▲35	▲90	▲5	-	▲5		▲5	▲5
その他	売上収益	10	20	30	20	20	40	+10	-	+10			
	営業利益	10	20	30	5	20	25	▲5	-	▲5			
全社費用等	営業利益	▲180	▲110	▲290	▲200	▲105	▲305	▲20	+5	▲15			
	内、成長投資関連費用	▲90	▲90	▲180	▲90	▲90	▲180	-	-	-			
	内、本社管理部門費用	▲90	▲20	▲110	▲90	▲20	▲110	-	-	-			
	内、セグメント間消去	0	0	0	▲20	5	▲15	▲20	+5	▲15			
連結	売上収益	3,220	3,880	7,100	3,130	3,870	7,000	▲90	▲10	▲100	▲20	▲30	▲50
	営業利益	30	330	360	▲80	290	210	▲110	▲40	▲150	▲30	▲45	▲75

米国関税の試算前提：8月以降の税率を日本・EU15%、タイ19%、中国55%、英国10%

* 上期関税影響額にはQ1にて発生した実績を含む。尚、映像事業においては価格転嫁による需要減の影響を売上収益に反映している

2026年3月期 通期見通し：映像事業



レンズ交換式デジタルカメラ (万台)			
市場規模	672	670	670
ニコン	85	95	95
交換レンズ (万本)			
市場規模	1,042	1,000	1,000
ニコン	131	140	140

- 前回予想比：売上収益 ▲80億円、営業利益 ▲80億円
（内、関税影響：売上収益▲50億円、営業利益▲50億円）
- 前年比：売上収益 ▲83億円、営業利益 ▲93億円

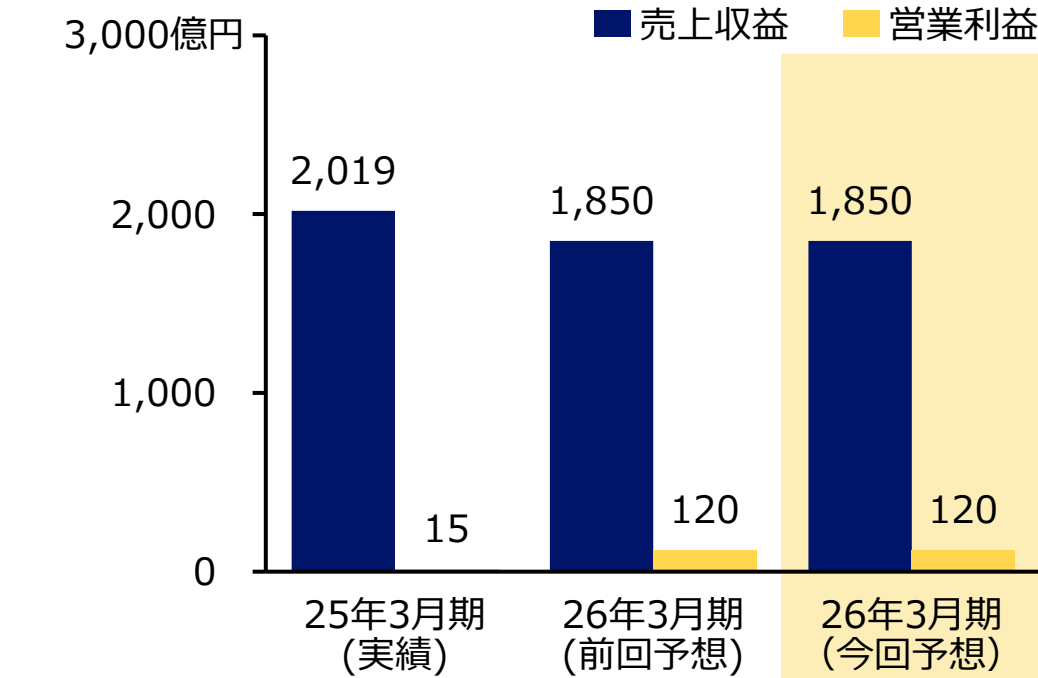
【前回予想比】

- レンズ交換式デジタルカメラ市場は引き続き堅調に推移すると見込むも、需要の変化により製品ミックスは下方ヘシフト
- 販売台数は前回見通しを据え置くものの、Q1実績を踏まえ上期の製品ミックスを見直し
- 加えて、通期の関税影響も反映したことで、売上収益80億円、営業利益80億円を下方修正

【前年比】

- Z9の先進技術を展開したボリュームゾーンの新製品Z5IIや好調なZ50IIを中心に販売数量の増加を見込むものの、為替の円高影響や関税影響等により減収減益

2026年3月期 通期見通し：精機事業



FPD露光装置販売台数（台）			
市場規模 (CY24/25)	58	70	70
ニコン	38	35	35
半導体露光装置販売台数（新品／中古、台）			
市場規模 (CY24/25)	625	570	570
ニコン	18/10	27/7	27/7

- 前回予想据え置き
 - 前年比：売上収益 ▲169億円、営業利益 +105億円
- 【前回予想比】
- 半導体露光装置の一部の販売計画が下期に後ろ倒しとなるも通期では予想を据え置く
- 【前年比】
- 新品ArF露光装置の販売台数減少やサービス収入の減少により、減収
 - 営業利益は、FPD装置事業の製品ミックス変化による平均販売単価向上、半導体装置事業の前期一時費用の剥落やサービス拠点最適化による収益性の向上もあり、増益を見込む
 - 半導体装置事業では、今後の顧客の動向を見極め、生産・サポート体制のスリム化を進め、損益分岐点を引き下げる
 - 後工程向けデジタル露光装置は受注を開始。主要半導体メーカーとのArF液浸露光装置共同開発は順調に進行中であり、2030年前後での大幅な収益回復を目指す

2026年3月期 通期見通し：ヘルスケア事業

- 前回予想比：売上収益 ▲30億円、営業利益 ▲45億円
（内、関税影響：売上収益 ±0億円、営業利益 ▲20億円）

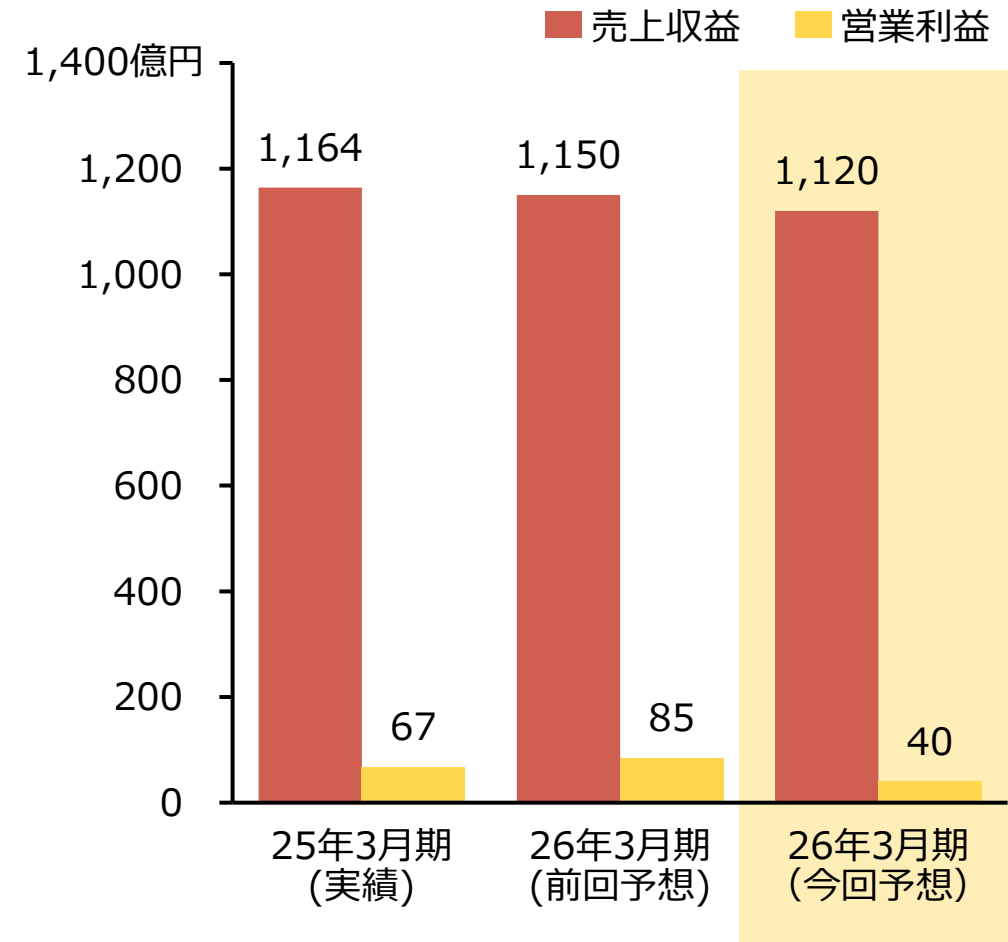
- 前年比：売上収益 ▲44億円、営業利益 ▲27億円

【前回予想比】

- ライフサイエンスにおいて米国でのアカデミア向け助成金の打ち切りや保留の影響により、売上収益は30億円下方修正
- 販管費の抑制、開発投資の見直し等の経営最適化を進めるものの、ライフサイエンスの販売の下振れや関税影響により営業利益は45億円下方修正

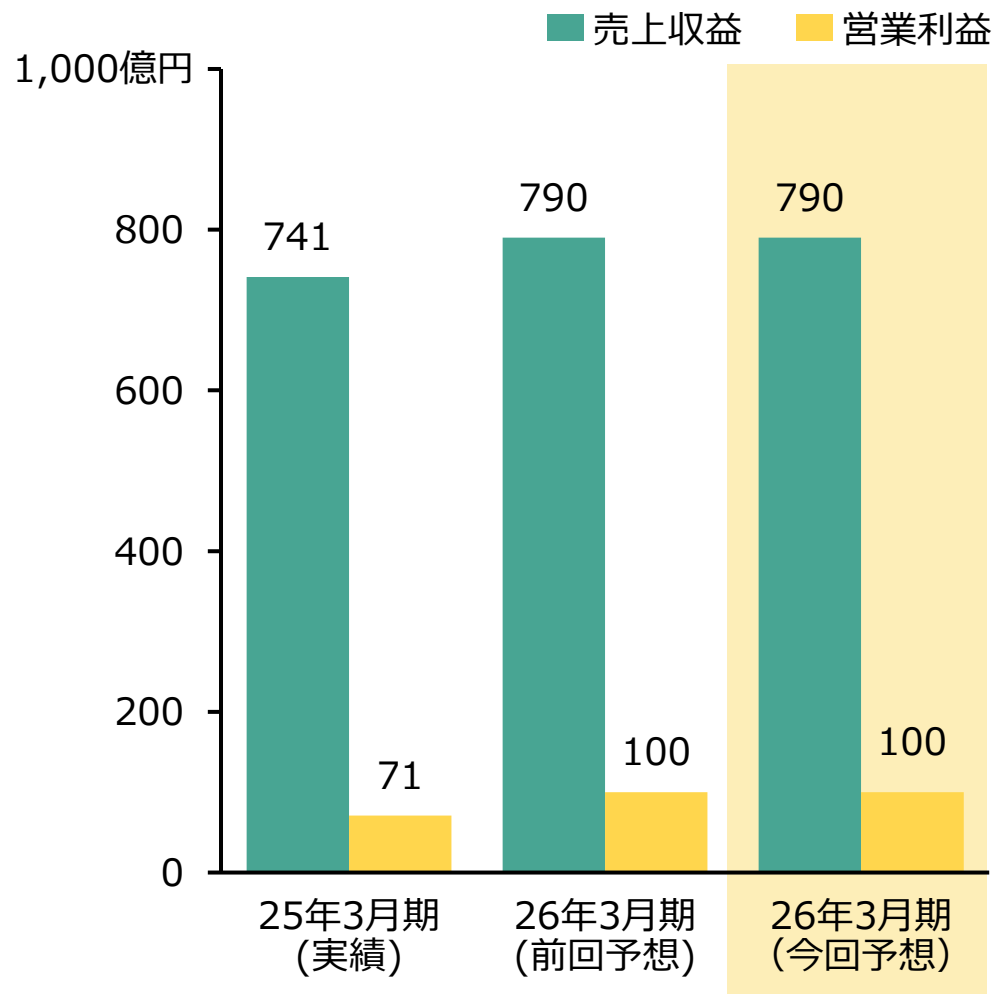
【前年比】

- ライフサイエンスは、収益性改善を目指し、高付加価値製品の拡販に加え、販管費の適正化を計画
- アイケアは、Q1で米国の販売が低調に推移したものの、欧州やアジアなど他地域での市場開拓を進め、通期では前年並みの売上収益を目指す
- 細胞受託生産は、安定した売上収益及び営業利益の確保を見込む。既存プロジェクトは好調に進んでおり、生産能力拡大に向けた投資を行う
- 事業全体の売上は、為替影響もあり減収を見込む。営業利益は、米国における販売減、また関税影響により減益を見込む



注：25年3月期実績は20億円、26年3月期予想は20億円の一時費用を含む。一時費用の主な詳細は決算短信15ページ（偶発負債）参照

2026年3月期 通期見通し：コンポーネント事業



- 前回予想据え置き

- 前年比：売上収益 +49億円、営業利益 +29億円

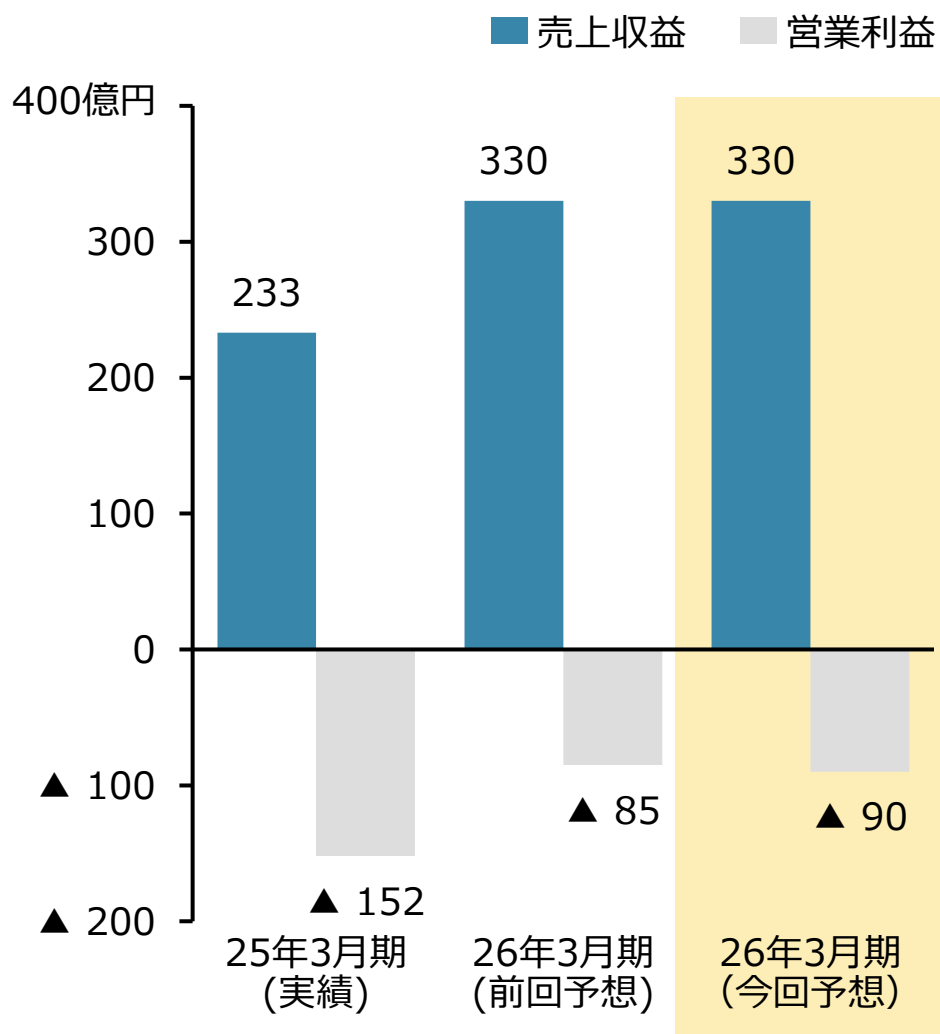
【前回予想比】

- 上期は電子部品・半導体向け画像測定システムやFPDフォトマスク基板の出荷前倒し等により売上収益20億円、営業利益10億円上方修正、通期では据え置き

【前年比】

- 光学部品・光学コンポーネントは顧客拡大を継続的に進め、下期の市況回復による販売増加を見込む
- 測定機器分野では、画像測定システムが好調に推移
- FPDフォトマスク基板は、高精細パネル向けの需要増加を見込む
- 増収効果に加え、前年発生した構造改革一時費用（18億円）の剥落と構造改革による収益性向上により、増益を見込む

2026年3月期 通期見通し：デジタルマニュファクチャリング事業



- 前回予想比：売上収益 ±0億円、営業利益 ▲5億円
(内、関税影響：売上収益 ±0億円、営業利益 ▲5億円)

- 前年比：売上収益 +97億円、営業利益 +62億円

【前回予想比】

- 商談の長期化により、一部販売の後ろ倒しを反映し、売上収益を上期10億円下方修正、下期10億円上方修正し、通期では据え置き
- 営業利益は、関税影響を反映し、5億円下方修正

【前年比】

- 金属3Dプリンター市場は、中小型装置を中心に低調で横ばいの見通しも、大型装置市場は引き続き需要が拡大すると見込む
- 注力する防衛・航空宇宙領域を中心に大型金属3Dプリンターの更なる販売拡大を目指す
- 売上拡大に加え、生産体制の最適化や経費抑制、研究開発の優先順位の明確化等の経営最適化を進め、収益率改善を図る
- SLM社は26年3月期に黒字化、事業全体では28年3月期の黒字化を目指す

注：26年3月期のSLM社買収に伴う無形資産償却費見込額：36億円